

細江カトリック教会だより

5月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15 ☎083-222-2294 📠083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

主につながってしよう

復活祭からほぼ一月、季節は着実に進んでいます。コロナの状況は、人間の努力を一切関知しないかのように、拡大の傾向をたどっています。今年の今頃、教会は、聖週間に始まって、復活祭、復活節のミサをほとんど捧げることのできないような状況でした。それと比べれば、ミサができるだけでも良しとすべきかもしれません。

復活節に読まれるヨハネ福音書を読んで気が付くことは、それぞれのテーマが違っていても、一貫して流れている強い主張があるということです。それは、イエスご自身が自らの心の中にある思いを、ためらうことなく語っておられるということです。「いのちのパン」の話でも、「良い羊飼ひ」の話でも、最後の晩餐の中での説教でも、繰り返し強調されるのは、イエスと弟子たちの関係、そして、イエスと御父の関係です。そこには、「ぶどうの木と枝」のたとえによく表れているように、簡単に断ち切るることのできない深いつながり、愛の絆があるということです。そして、それを固め深めるために、イエスが自らを惜しみなく開示し、さらには、御自分のすべてをパンに

象徴される糧の形で提供されるということですので。

このことは、考えてみれば、コロナがもくろんでいること、コロナの感染を防ぐために繰り返し言われること、接触と密を避け、いつも消毒された状態であることと正反対であるように思えます。コロナのもとで、そうした感染予防の対策を一切取らないとすれば、それは、自分に対しても、世間に対しても大きな無責任と言われるでしょう。しかし、同時に、そのような状況下にあつて、教会が根本的に大事にしてきたこと、イエスが信じる者に望んでおられることを無視し続けるならば、教会は自らの墓穴を掘るような愚かなことをしていることとなります。

コロナ禍にあつても、復活の主はお休みになることはありません。自らをいつも復活された主の呼びかけに耳を傾ける状態にしておくこと、不規則な状況の中でも、その招きに応じて動き出すことができるよう準備しておくこと。それが、今、わたしたち皆に主が望んでおられることではないでしょうか。

広島教区設立100周年が3年後に迫っています。様々な課題を担っている教区、そして、コロナ禍に苦しむ日本の教会、また、全世界の教会とともに、復活の主を証しする恵みを願いながら、進んでまいりましょう。



作道 宗三 神父



信徒代表の就任の挨拶

今年度もコロナウイルス感染症防止に加えて、変異ウイルスの感染防止にも、心がけていかなければならない年になりそうです。

コロナ禍での行事予定を組んでおりますが、まずは「いのちを大切に」を一番のモットーに進んでいきたいと思っております。

教会の信徒の皆様の中にも、医療従事者やそのご家族の方々もいらっしゃいます。これ以上の禍が増加しないように、教会においても消毒や換気・密にならないことの基本的なことも含めて更に注意していきましょう。

また、教会も環境問題に目を向けて、日々の生活の中で私たちが行っている何気ない動作が、自然破壊へと繋がっていることを意識して少しでも改善できるよう行動したいと思っております。

信徒代表として未熟な点があるかと思っておりますが、皆様からのお力添えをいただきながら、精一杯頑張りたいと考えております。

どうか宜しくお願い致します。

信徒代表 近藤 豊之



地区だより I

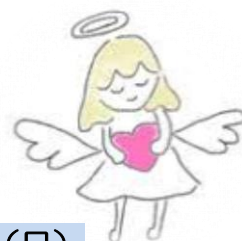
幼稚園も新年度を迎えました。今年も昨年に続き、青空入園式で新しい子どもたちを MARIA 様の前で笑顔いっぱい迎えました。

その2日前の始園式の日、ある女の子が「せんせい！わたし、せんせいがおはなしをしたことをやってみたよ」と。(多分、終園式に話をした事かな？と自分でも何を話したかな？と)

「何を？」と聞くと「せんせいが、さみしいとき、こまったとき、うれしいとき、いつでもかみさまにおはなししてみても、いったでしよ。してみたよ。」・・・どうだった？

「こころがうれしくなったよ！」と。小さな小さな宣教かな。

細江地区 三上 しのぶ



幼児の洗礼式 4月25日(日)

神さまの贈り物。

白濱明(しらはまめい)ちゃん、受洗おめでとうございます。霊名はジャンヌ・ダルク。これからも、神さまからたくさんのお恵みをいただき、健やかに成長されることをお祈りしています。



♡ 明ちゃんのご両親からのメッセージ

8月に生れた娘も早いもので8ヶ月になり、ようやく洗礼を授かることができました。

明(めい)という名前のおり、みんなを明るく照らせることができるよう成長していったらお父さんとお母さんは嬉しいです。

白濱 開、萌

5月 『聖母月』



教皇さまからのロザリオの祈りの呼びかけ
「聖母月」にパンデミックの終息を願う

教皇フランシスコは5月の「聖母月」を通して、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの終息を願って、ロザリオの祈りを唱えるよう全世界に呼びかけます。

5月には毎日、ローマ時間の午後6時（日本時間・翌日午前1時）から、世界30カ所の聖母聖堂などでのロザリオの祈りが、バチカンの公式メディアを通してライブ配信されます。

（カトリック中央協議会ホームページより）

*教皇さまの呼びかけに応え、意向にそって5月中の主日のミサの始まる前に「ロザリオの祈り」を一連唱えます。先唱者の方よろしくお願いします。（典礼委員長より）

世界広報の日 5月 9日

福音宣教はわたしたちの使命です。この福音宣教の分野の中でも特に新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、インターネットなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金を捧げる日です。

広報が社会や文化に及ぼす影響ははかりしれないものがあります。広報の重要性を再確認し、広報を通じて社会と人々にどのようにかかわっていくことができるか、また、実際にどのようにかかわっているかを考えることが大切です。

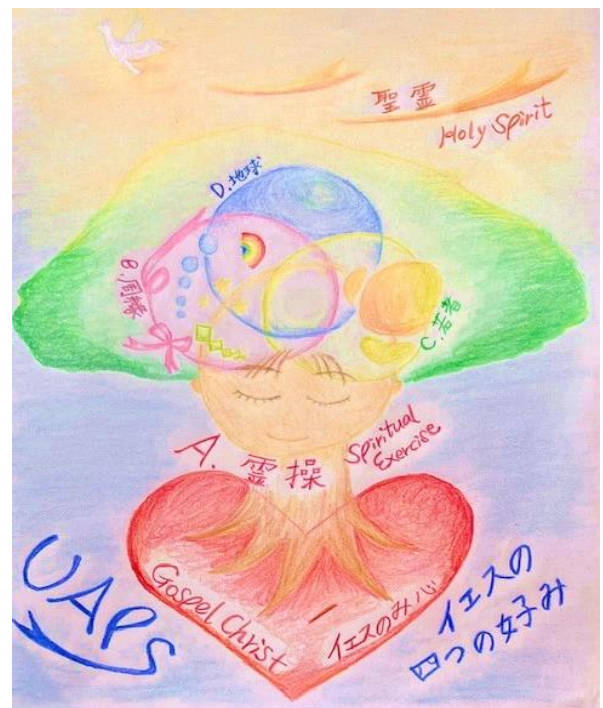
キリストの聖体 6月 6日

この日、初聖体を受ける4名の子どもたちのために、お祈りください。

- ・マキシミアノ・コルベ 井石士湧さん
- ・アシジのフランシスコ 井石有州さん
- ・イグナチオ 糸永或叶さん
- ・マリア カスタニエーダ 彩代さん

社会教説 6月13日(日)9:00

UAPs(イエズス会使徒職全体の方向づけ)
ーイエスの四つの好みー



2019年にイエズス会は UAPs(イエズス会の使徒職全体の方向づけ)を発表しました。これは現代においてイエズス会が大切にしていべきミッションが何かを指し示すもので教皇フランシスコと共に識別されたものです。a. 霊操、識別、b. 貧しい人、抑圧された人、c. 若者と共に歩むこと、d. 地球の叫びを聞くこと この四つの方向性を大切にしてください。小教区もこのミッションを分かち合うことができればと思います、今年度の社会教説は UAPs についてわかりやすく体験を交えて分かち合い、また社会問題にかかわるときにどのような選びをしてゆけばよいのか、社会的次元での識別についてお話しします。

中井 淳 神父

細江教会へ来られている

ベトナムの青年たちの紹介



みなさん、こんにちは！
私はグエン ディ チ
ャンと申します。
ベトナムから2019
年に日本に来ました。
今、私は農水フーズ株式
会社の研修生です。
私の会社はソフトドリ
ンクと餃子の製造を専

門としています。機会があれば、みんなに持って行き楽しんでもらいたいと思います。

彦島で24人のベトナム人と住んでいます。カトリック信徒は私だけです。友達が細江カトリック教会を紹介してくれました。こちらで日本人とベトナム人とも会えて嬉しいです。ミサに参加する日本人達は、とても優しくて熱心です。いろいろな事を助けてくれました。本当にありがたいです。いつも恥ずかしがり屋だったけれど、皆さんのおかげで、アクティブな人になれそうです。本当に感謝します。これからもよろしくお祈りします。



皆さん、こんにちは。
私はハンと申します。
今年21歳です。ベト
ナムから2019年8
月に来日しました。

私の趣味はスポーツ
をすることです。私は
カトリック教徒ではな
いのですが、友人のおかげで細江カトリック
教会を知ることができました。そして、毎週教
会に行くことが嬉しいです。教会の皆さんは
とても親切です。いつも手伝ってくれてあり
がとうございます。
これからもよろしくお祈りします。



皆さん、こんにちは。私はチャンと申しま
す。今年21歳です。ベトナムのハーティンか
ら来ました。日本に来て一年半になりました。
初めて日本に来た時、ちょっと心配でしたが、
今は日本の生活がどんどん慣れました。

日本に来て、友達から細江カトリック教会
を紹介してくれました。それで、毎週ミサに参
加することができて嬉しいです。教会に行っ
て日本の人と話せる
し、日本語も勉強でき
るし、ベトナム人と交
流できるので、とても
楽しいです。みんなや
さしくて色々手伝っ
てもらいました。本当に
ありがとうございます。
これからもよろしく
お祈りいたします。



祈禱の使徒・・・意向の祈り(5月)

病床にある人々、特に孤独のうちに病と闘う
人々に寄り添い、あわれみ深い父なる神のみ
心を伝えていくことができますように。
また、コロナウイルス感染症で苦しむ人々のた
めにも、ご一緒にお祈りを願います。



編集後記

・65歳以上のコロナワクチンの接種が始まりま
す。新型コロナウイルスに加えて、変異型のウ
イルスがまん延しそうです。
なるべく早く、若い世代の方々も接種できま
すように。
・5月の連休はいかがお過ごしでしたか。
爽やかなこの季節に、自然を満喫したいです
ね。
・コロナ禍で、生活が困窮している外国人留
学生や就労者への物資等の支援を考えていま
す。
細江教会のディン神父、総務及び労働教育
センター中井神父までご連絡ください。

広報委員会一同